

浜田市立原井小学校『心に残る文化財子ども塾』

1. 活動の概要

7月6日(月)、浜田市立原井小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに島根県埋蔵文化財調査センターの職員から、埴輪や浜田市の古墳について、遺跡から出土した形象埴輪や浜田市の主要な古墳を中心に話し、埴輪の製作体験を行いました。埴輪や古墳の話では、実際に遺跡から出土した遺物の見学を行いました。校区周辺に多くの遺跡があることを学ぶほか、古墳出土の遺物を手に取り、その手触りや重さを実際に感じていました。

埴輪の製作は粘土を捏ね、思い思いの形に成形していました。みんな一生懸命に取り組み、時間いっぱい熱中していました。

2. 活動の様子



説明を熱心に聞いています。



出土した遺物を見学しました。



埴輪製作に熱中しています



埴輪が完成しました。

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- 埴輪を作るための土にはどのような種類があるのだろうか知りたい。
- 思っていたより身近に古墳があり驚いた。
- いつもはできないような体験ができてよかった。身近な古墳に行ってみたい。
- 埴輪作りが楽しかった。いろいろな種類の埴輪を作りたい。
- みんなで一つ一つ違う埴輪を作っていて、様々な形の埴輪があることを知りました。
- 埴輪にもいろいろな種類があることがわかった。
- 勾玉作りなど他の体験もしてみたい。

2) 担任の先生から…

- 子どもたちが古墳などの遺跡に興味をもてたことがよかった。
- 実物を見ることで歴史上のことも実感のある理解に変わった。

3) 埋文センターから

- 小学校周辺の遺跡を紹介したことは、児童の皆さんにとって遺跡を身近に感じてもらうのに役立ったのではないかと思います。また、埴輪や古墳に興味をもつきっかけになりよかったと思います。
- 埴輪製作体験ではそれぞれオリジナルの埴輪が完成するまで熱心に取り組んでおり、頑張りを感じました。